

西紀っ子だより



「未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成 ～郷土を愛し ころ豊かに たくましく～」

◇丹波篠山市立西紀小学校

◇〒669-2716 丹波篠山市乗竹650

◇TEL:593-0024 ◇FAX:593-0249

◇E-mail: el-nishiki@school.sasayama.jp

◇HPはこちらへ→



No. 7

(文責:安井健二)

「過去から現在、そして未来へ～心のバトン～」

校長 安井 健二

明治5(1872)年に領布された「学制」により、翌明治6(1873)年5月9日に開校した西紀小学校は、今年で創立150周年を迎えました。

開校から150年、西紀小学校は種々の変遷を経ながら数多くの卒業生を輩出しました。その先輩方が一日一日を大切に創り上げてこられた伝統が今の西紀小学校の土台になっているのだと思うと身が引き締まります。

さて、小学生の作文にこんなのがありました。「わたしはスイカが大好きです。・・・にじいろスイカをつくってたくさんのひとにたべてもらいたいです。」

実は、これは私の娘が小学生の時に「大きくなったら」という作文の中に書いた一節です。

「虹色のスイカ」なんて今の技術ではできないのかもしれませんが。突拍子もない作文内容に、当然のごとくたくさん添削されていました。友だちからは、「そんなスイカできないわ!」とか、「スイカは夏にしかつくれないやん!」とか言われてショックを受けていました。今、その娘も大人になり「にじいろスイカをつくりたい!」とは言いません。

私もそうですが、成長するにつれて「こんなことを言ったら笑われる」と思ったり、「そんなできないことを言わないで!」と言われてたりして、自分の夢に柵をし、あきらめ、変更して、・・・それがあある意味、大人になることなのかもしれません。

ほんの200年前に月を見て、「月に行きたい!」と夢を語った人は、「馬鹿なことを言うな!行けるわけないやろ!」と言われたことでしょう。しかし、今民間人でも宇宙に行ける時代になっています。山中先生がIPS細胞を発見されたことにより、これまで治らないと思われていた病気も治るという期待が持てる時代になりました。

大人になる過程で今在籍している「西紀っ子」も夢を少しずつあきらめざるを得ない時が来るかもしれません。しかし、まだまだ小学生です。自分で限界を決めず、壮大な夢を語って、それに向かった歩みを続けて欲しいと思います。

私たち大人は、子どもたちの夢を応援するために経験から得たアドバイスをしなければならない時があります。しかし、経験から得たアドバイスが、時として子どもが自分で考え、判断する機会を減らし、子どもの可能性を止める先回りしたアドバイスにならないように気を付けなければなりません。

「西紀っ子」が夢を語り、夢にむかって進み、ぶったまげるような夢を実現し、西紀小学校を卒業された先輩方が過去から現在へ繋いでこられた「心のバトン」を未来の西紀っ子へ引き継いでくれることを心から望んでいます。

広島への修学旅行

…小学生生活最高の思い出になりました

10月26日、27日、6年生が広島への修学旅行に行きました。

1日目、広島市へ到着後、広島平和記念資料館に行き、展示されているものを見ながら「戦争の悲惨さ」と「平和の尊さ」を感じることができました。その後、広島平和記念公園で平和への誓いを捧げ、千羽鶴を奉納しました。

その日の宿泊先は宮島内のホテルでしたので、フェリーで宮島に渡り、そこで見たライトアップされた厳島神社の鳥居は幻想的で、今でも脳に焼き付いています。



誰もが楽しみにしていたホテルでの友だちとの一時は、きっと良い思い出としていつまでも心に残ることでしょう。

2日目は、ホテル出発後、五重塔、千畳閣、厳島神社、宮島水族館を見学し、お楽しみのお土産購入タイムでした。それぞれが、家族のことを考えながら、そしてお小遣いと相談しながら、思い思いのお土産を購入していました。

最後の昼食は、広島焼体験でした。定員さんに教えてもらいながらでしたが、みんな上手にできて、大きな

なお好み焼きを頬張っていました。

満腹になり、適度にバスに揺られ、心地よい時間を過ごしながら西紀小への帰路につきました。

9名の6年生にとって思い出に残る修学旅行になったことだと思います。

「いらっしゃい！いらっしゃい！」



11月12日、5年生が西紀中地区振興祭「第1回げんき・げんき祭り」で、学校田で収穫したお米「ドリー米S」を販売しました。

10時、売り始めると5年生の威勢の良い「いらっしゃい！いらっしゃい」の声が響き渡りました。明るく元気に販売している様子、道行く人も足を止め、財布のひもを緩めご購入いただきました。

3kg 1000円のドリー米S、児童のコメント入り27袋がほんの30分余りで完売しました。

田植えの時からご指導いただいた方々にお礼申し上げます。ありがとうございました。

